

(4) 専門分野Ⅱ

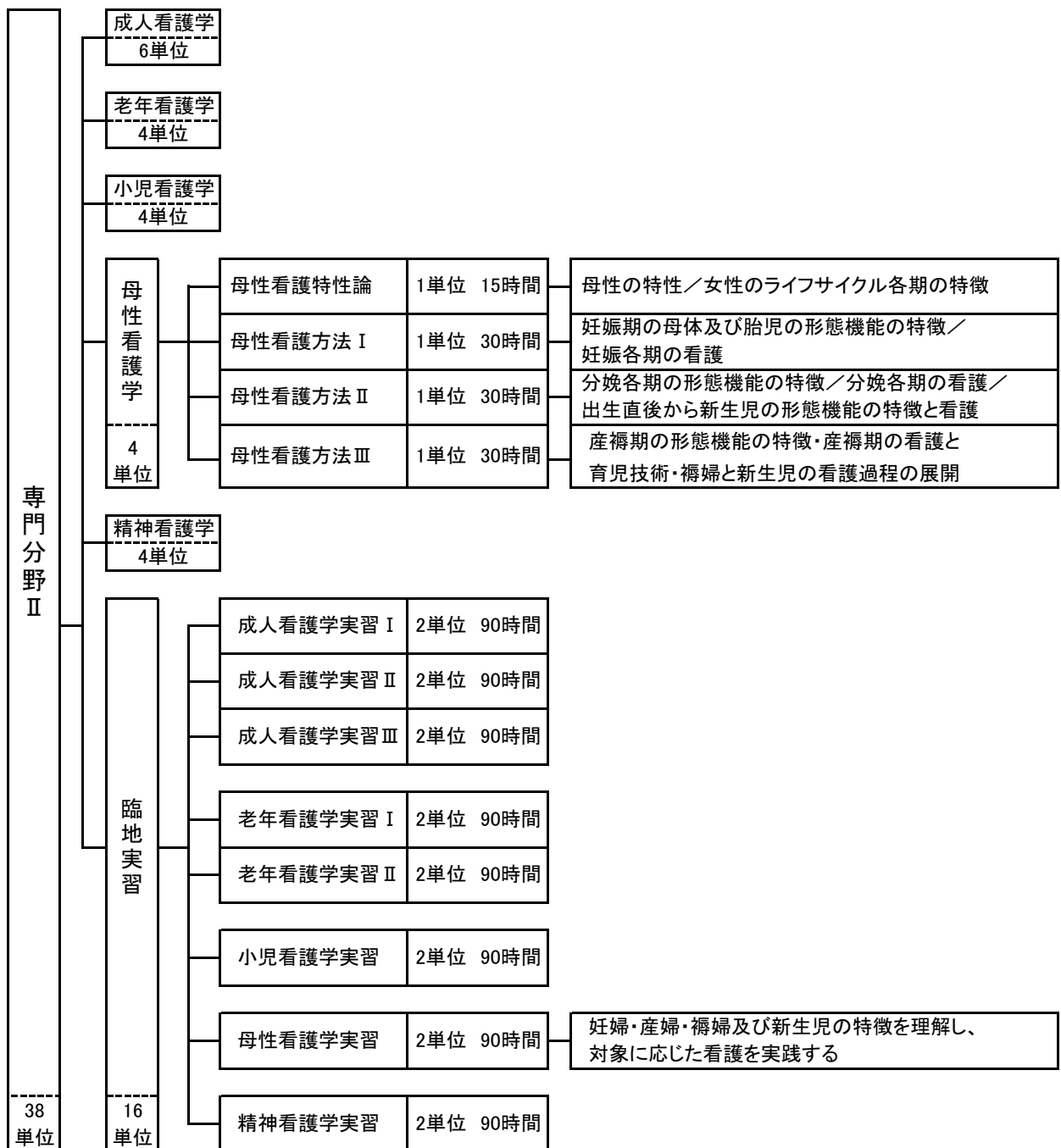
【ねらいと構成】

母性看護学は、母性の一生を通じた健康の維持・増進、疾病の予防を目的とした看護活動である。

母性看護特性論では、母性とは何かを探求しながら、親になることの意味、ヒトの生命の尊さについて考える。そして、女性のライフサイクル各期における健康と看護の必要性について考えるとともに、次世代の健全育成を目指す寄り添う看護を学習する。

母性看護方法Ⅰ～Ⅲでは、新しい家族の誕生を支える看護として、妊娠・出産・育児期の母子とその家族の健康生活を支える看護方法を学ぶ。

具体的には、母体と胎児のつながり、妊婦・産婦・褥婦と新生児の特徴と生理的変化を理解して、妊産褥婦のセルフケア能力を高める援助方法、母乳保育への支援や育児指導に関する援助方法を学習する。



科目群: 専門分野Ⅱ

2年度	授業科目	母性看護特性論	担当教員	笹尾 みゆき	単位(時間数)	1(15)
第1学年					担当時間数	15
授業科目に関連した実務経験の内容		看護師臨床経験 13年 助産師臨床経験 3年				
実務経験を活かした実践的な授業内容		産婦人科病棟と産婦人科外来での9年の臨床経験を元に、助産師と看護師双方の視点から母性看護特性論について講義をおこなう。				
学習目的・目標	<p>目的: 母性の特性と母性看護の役割と意義を考える。</p> <p>目標: 1. 母性看護における看護者の役割について考える                  2. 女性のライフサイクル各期の特徴を理解をする。                  3. 女性のライフサイクル各期の健康問題と看護を理解をする。</p>					
回数	月日	学習内容	方法	場所	課題	
1	/	1. トピックス・ニュースから、「母性」もしくは「性と生殖」に関する健康問題を考える。	講義 GW	教室他	「母性」または「性と生殖」に関するニュース・トピックスを調べ開講前にレポート提出する。	
2	/	2. グループワークの発表から、母性看護の対象と役割、意義は何かを考える。	GW	教室		
3	/	3. セクシュアリティ・リプロダクティブヘルス/ライツ	講義	教室	事前学習課題の項目沿ってサブノートにまとめる	
4	/	4. 女性のライフサイクル・性周期	講義 GW	教室	資料を読んで感じたこと、考えたことをレポート提出する。	
5	/	5. 思春期の特徴、健康問題と看護	講義 GW	教室		
6	/	6. 成熟期の特徴、健康問題と看護 ・ 家族計画	講義 GW	教室		
7	/	7. 更年期の特徴、健康問題と看護	講義	教室		
8	/	試験		教室		
評価方法	各課題とグループワークの発表と筆記試験にて総合評価をする。試験時間は45分 配点(記述試験65点 課題点35点)とする。					
教科書	医学書院(系統看護学講座)『母性看護学概論[1]』 医学書院(系統看護学講座)『母性看護学各論[2]』					
参考書	医学書院(系統看護学講座)『成人看護学[女性生殖器]』 医学書院(系統看護学講座)『解剖生理学』 メディック・メディア『病気がみえる 産科』『病気がみえる 婦人科・乳腺外科』 財団法人看護統計協会『国民衛生の動向 2020/2021』					
履修上の留意点	第1回目の授業はグループで一番関心の高いテーマについてグループワークを行う。その結果を第2回目の授業で発表し、クラス全体で学びを共有する。事前学習課題を学習してから講義に参加する。					

※実務経験は令和2年4月1日現在

科目群: 専門分野Ⅱ

3年度	授業科目	母性看護方法Ⅰ	担当教員	高須かおり	単位(時間数)	1(30)	
第2学年					担当時間数	30	
授業科目に関連した実務経験の内容		助産師臨床経験16年					
実務経験を活かした実践的な授業内容		助産師として、妊・産・褥婦のケアを実践した経験に基づいて、具体的な援助方法を講義・演習に取り入れている。					
学習目的	目的 妊娠各期の形態機能の特徴と看護を学ぶ。 目標 1. 妊娠の生理・胎児の発育と母体の生理的変化、妊婦と家族の心理を理解する。 2. 妊娠が確定した段階での看護を理解する。 3. 中期妊婦の看護を理解する。 4. 後期妊婦の看護を理解する。 5. ハイリスク妊婦の看護を理解する。						
回数	月日	学習内容	方法	場所	課題		
1	/	1. 妊娠の成立とメカニズム	講義	教室	事前学習課題は別紙参照		
2	/	2. 胎児の発育と生理、胎盤の形成と働き、羊水の働き	講義 GW	教室			
3	/	3. 母体の生理的変化(生殖器・全身)	講義	教室			
4	/	4. 妊婦の心理、妊婦と家族、社会との関係	講義	教室			
5	/	5. 妊娠の診断と分娩予定日の算出、妊婦一式検査の目的と意味	講義	教室			
6	/	6. 妊婦健康診査の目的と意味・方法、母子健康手帳交付	講義	教室			
7	/	7. 母性に関する関係法規と勤労妊婦への関わり	講義 GW	教室			
8	/	8. 妊婦のセルフケアを高める援助1 (食生活)	講義 GW	教室			
9	/	9. 妊婦のセルフケアを高める援助2 (活動と休息・バースプラン)	講義 校内実習	体育館			貧血の予防・体重管理・便秘予防の中から1つリーフレットを作成
10	/	10. 妊婦のセルフケアを高める援助3 (排泄、清潔、衣、性生活とマイナートラブルの予防・母親役割獲得の援助)	講義	教室			
11	/	11. レオポルド触診法、子宮底長・腹囲の測定、胎児心音聴取、胎児健康度の評価(NST)	講義 校内実習	実習室			
12	/	12. 切迫早産妊婦の看護	講義	教室			研修会参加後にレポート提出
13	/	13. 妊娠高血圧症候群妊婦の看護	講義	教室			
14	/	14. 母性に関する研修会	講演	西尾市文化会館			
15	/	試験、授業のまとめ (リーフレットの俯瞰・発表)	講義	教室			
評価方法	事前課題、リーフレット、課題と筆記試験で総合評価する。試験時間は45分、記述試験の配点は65点、課題の配点は35点とする。						
教科書	医学書院 (系統看護学講座)『母性看護学概論[1]』 / 医学書院 (系統看護学講座)『母性看護学各論[2]』 南江堂『母性看護学Ⅱ マタニティサイクル』 医学書院『根拠と事故防止からみた母性看護技術』						
参考書	メディック・メディア『看護師・看護学生のためのなぜ? どうして? 母性看護学』 メディック・メディア『病気がみえる 産科』 医歯薬出版『カラー写真で学ぶ妊産褥婦のケア/周産期の看護/新生児の観察と看護技術』 医学書院『なるほど解決! 妊産褥婦のよくあるトラブル』						
履修上の留意点	講義前に事前学習をして参加する。 自分の母子健康手帳を持参する。 校内実習で体育館、実習においても、学校指定のジャージを着用する。						

※実務経験は令和2年4月1日現在

科目群: 専門分野Ⅱ

3年度	授業科目	母性看護方法Ⅱ	担当教員	高須 かおり	単位(時間数)	1(30)
第2学年					担当時間数	30
授業科目に関連した実務経験の内容		助産師臨床経験16年				
実務経験を活かした実践的な授業内容		助産師として、妊・産・褥婦のケアを実践した経験に基づいて、具体的な援助方法を講義・演習に取り入れている。				
学習目的・目標	目的 分娩期の形態機能の特徴と看護を学ぶ。 目標 1. 分娩第1期から4期までの形態機能の変化を理解する。 2. 分娩各期の看護を理解する。 3. 出生直後から生後24時間以内の新生児の形態機能の変化と看護を理解する。 4. 新生児期の生理的変化と看護を理解する。					
回数	月日	学習内容	方法	場所	課題	
1	/	1. 分娩の3要素 (産道・娩出力・胎児及び付属物)	講義	教室	事前学習課題は別紙参照	
2	/	2. 分娩経過 (第1期～第3期)	講義	教室		
3	/	3. 分娩機転	講義	教室		
4	/	4. 分娩第1期の看護	講義 GW	教室		
5	/	5. 分娩第2期の看護	講義 GW	教室		
6	/	6. 分娩第3期の看護	講義 GW	教室		
7	/	7. 分娩第4期の看護	講義 GW	教室		
8	/	8. 出生直後の新生児の形態機能の変化 (呼吸・循環・体温)	講義	教室		
9	/	9. 新生児の生理的適応現象と形態機能の変化 (消化と吸収、ビリルビン代謝、腎臓の働き、免疫、皮膚、反射、感覚機能)	講義	教室		
10	/	10. 出生直後～24時間以内の新生児看護	講義	教室		
11	/	11. 早期新生児期の看護	講義	教室		
12	/	12. 新生児の看護技術 (児の抱き方、衣類の着脱、おむつ交換、バイタルサイン測定)	校内実習	実習室	沐浴演習前に沐浴の手順書を作成する。	
13 14	/	13. 沐浴演習	校内実習	実習室		
15	/	試験、授業のまとめ (沐浴DVD視聴)	講義	教室		
評価方法	事前課題、沐浴の手順書と筆記試験で総合評価する。 試験時間は60分、記述試験の配点は80点、課題の配点は20点とする。					
教科書	医学書院 (系統看護学講座)『母性看護学概論[1]』 / 医学書院 (系統看護学講座)『母性看護学各論[2]』 南江堂『母性看護学Ⅱ マタニティサイクル』 医学書院『根拠と事故防止からみた母性看護技術』					
参考書	メディック・メディア『看護師・看護学生のためのなぜ? どうして? 母性看護学』 メディック・メディア『病気がみえる 産科』 医歯薬出版『カラー写真で学ぶ妊産褥婦のケア/周産期の看護/新生児の観察と看護技術』					
履修上の留意点	事前学習をしてから講義に参加する。 自分の母子健康手帳を持参する。 校内実習で実習室使用時は白衣を着用する。					

※実務経験は令和2年4月1日現在

科目群: 専門分野Ⅱ

3年度	授業科目	母性看護方法Ⅲ	担当教員	高須 かわり	単位(時間数)	1(30)
第2学年					担当時間数	30
授業科目に関連した実務経験の内容		助産師臨床経験16年				
実務経験を活かした実践的な授業内容		助産師として、妊・産・褥婦のケアを実践した経験に基づいて、具体的な援助方法を講義・演習に取り入れている。				
学習目的	目的 産褥期の形態機能の特徴と看護を学ぶ。 目標 1. 産褥期の形態機能の変化を理解する。 2. 産褥期の看護を理解する。 3. 産褥早期の母児看護を展開する方法を理解する。 4. 育児技術の修得をはかる。					
回数	月日	学習内容	方法	場所	課題	
1	/	1. 退行性変化(全身、子宮復古と悪露、)	講義	教室	事前学習課題は別紙参照	
2	/	2. 乳汁分泌機序と乳汁の産生のメカニズム	講義	教室		
3	/	3. 褥婦の心理、産褥期の看護目標と観察の視点	講義	教室		
4	/	4. セルフケアを高める援助(継続看護)	講義	教室		
5	/	5. 帝王切開術後の褥婦の看護	講義	教室		
6	/	6. 産褥1日目の母児の全体像を描く(情報収集)	講義 GW	教室	看護過程の展開は事前課題を講義前に提出	
7	/	7. 産褥1日目の母児の全体像を描く(全体像の把握)	講義 GW	教室		
8	/	8. 産褥1日目の母児の全体像を描く(アセスメント)	講義 GW	教室		
9	/	9. 産褥3日目の母児の全体像を描く(アセスメント)	講義 GW	教室		
10	/	10. 看護上の問題を明確化・ケースの特徴と看護の方向性を描く	講義 GW	教室		
11	/	11. 褥婦への保健指導計画の立案	講義 GW	教室		
12	/	12. 褥婦への保健指導の実際	校内実習	実習室		
13・14	/	13. 沐浴技術チェック	校内実習	実習室		
15	/	試験、授業のまとめ	講義	教室		
評価方法	事前課題、看護過程展開の課題と筆記試験で総合評価する。試験時間は45分、記述試験の配点は65点、課題の配点は35点とする。					
教科書	医学書院(系統看護学講座)『母性看護学概論[1]』 / 医学書院(系統看護学講座)『母性看護学各論[2]』 南江堂『母性看護学Ⅱ マタニティサイクル』 医学書院『根拠と事故防止からみた母性看護技術』					
参考書	メディック・メディア『看護師・看護学生のためのなぜ? どうして? 母性看護学』 医歯薬出版『カラー写真で学ぶ妊産褥婦のケア / 周産期の看護 / 新生児の観察と看護技術』 医学書院『なるほど解決! 妊産褥婦のよくあるトラブル』 メディカ出版『ミルクーママの自分でできるおっぱいケア』					
履修上の留意点	自分の母子健康手帳を持参する。 沐浴の技術チェックは、実習開始までに合格する。 看護過程の展開は事前課題を講義前に提出する。					

※実務経験は令和2年4月1日現在